



# 高橋ゆうこ県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

## 有害物質PFOS含む泡消火剤

# 成田空港の保有量調査を

### 6月定例県議会一般質問

高橋議員 有機フッ素化合物であるPFOS(ペーフォス)、PFOA(ペーフォア)は水をはじく性質があり、泡消火剤や調理器具の表面コーティングなどに幅広く使われてきた物質。しかし、近年、発がん性などの健康リスクが指摘され、PFOSについては2010年に国内における製造・輸入が禁止され、PFOAも製造輸入の禁止に向けて検討がされている。

泡消火剤を保有・使用する施設については、漏洩のリスクに加え、火災時に泡

地元富里市と県のパイプ役として大車輪の活躍を続ける高橋祐子県議は、6月定例県議会に登壇し、一般質問に臨みました。安全な街づくりを公約に掲げる高橋県議は、有害物質を含む泡消火剤について、成田空港の保有量を県が把握していないのはあり得ないとして、対応を県執行部に質問しました。また、健康に悪影響を与えるアスベストの飛散防止について、県の施策を聞きました。高橋祐子県議の質疑と県執行部の答弁を紹介しします。



マスク姿で一般質問を行う高橋祐子県議

### 国内での製造・輸入禁止

消火剤を使用した際には、PFOS及びPFOAがそのまま環境中に流失してしまうことが予想される。

4月に沖縄県普天間飛行場から、PFOSを含む泡消火剤14万リットル(ドラム缶719本分)が漏れ出し、基地外の住宅街や河川に流出するという事故が起き、重大問題になった。

本県には大規模な空港や石油コンビナートがあり、これらの施設には泡消火剤が配備されていることが考えられることから、県としても十分に注視する必要があります。

高橋議員 国内において、PFOSを含む泡消火剤については、含まないものと交換が進んでいる。県としても、PFOSを含む泡消火剤を保有している施設への交換を促す取り組みを行うべきかと考えるが、特に、消防機関については、率先して取り組みを行うべきではないか。

防災危機管理部長 PFOSを含む泡消火剤は、県内消防機関が保有するほか、県でも石油コンビナート地域における災害用として保有しています。

そこでどうかうが、県内の泡消火剤の在庫量について、県はしっかり把握しているのか。もしくは、今後調査する予定はあるか。調査予定があるのであれば、具体的な時期や方法はどうか。

環境生活部長 国が行った調査結果によれば、本県におけるPFOSを含む泡消火剤の在庫量は、平成28年3月現在で、約1403キログラムとなっています。

この調査の基となった国の計画は、本年度に改定が予定されており、国が改めて在庫量の調査を実施するものと認識しています。県としてはその結果も踏まえ、在庫量を把握してまいります。

**消防機関 PFOS含まない 泡消火剤と交換へ**

**再質問** 高橋議員 2016年版の国の調査結果を見ると、成田空港は国も把握をしていない。これは、国は管理空港しかやらないというルールに基づいて調査をしているので、成田空港が除かれているということだが、国が調査していないから県は把握していないという考え方はおかしいと思う。

県が成田空港を把握していないなどあり得ない。ひいては国に把握するよう要請するか、あるいは県独自に調査すべきと考えるがどうか。

環境生活部長 今後、国に対して、成田空港についても、保有量を把握するよう要請してまいります。

**高橋ゆうこプロフィール**

○ 経 歴 ○

- 富里市御料生まれ
- 富里南小学校卒業
- 成田高校付属中学校卒業
- 成田高校卒業
- 早稲田大学第一文学部卒業
- 平成23年富里市議会議員当選
- 平成27年富里市議会議員当選
- 平成31年千葉県議会議員当選

○ 現 職 ○

- 県議会 県土整備常任委員会 副委員長
- 県議会 議会運営委員会委員

消防機関等は、本年6月の消防庁からの通知により、PFOSを含む泡消火剤の更新計画を策定した上で、適切な廃棄と調達を行うよう、求められているところです。

対象となる県内消防機関に対し、計画の策定と適切な更新を働きかけていくとともに、県保有分に係る対応についても、速やかに取り組んでまいります。

● 県政や富里市のまちづくりに関する相談をお気軽にどうぞ

**高橋ゆうこ 県議事務所**

〒286-0221 富里市七栄723-2  
TEL 0476-33-7252 FAX 0476-33-7253



# アスベストの飛散防止を

高橋議員 アスベストは数十年の潜伏期間を経て、肺がんや中皮腫など重篤な健康被害を発生させる恐れがある。県民の健康を守るために解体工事によるアスベストの飛散防止をすることが極めて重要と考える。

解体工事によるアスベストの飛散防止を二層強化するため、5月29日、改正大気汚染防止法が成立した。

新たに規制対象に追加されるレベル3建材は、現在規制対象とされているレベル1、レベル2建材と比べれば飛散性は低いとされて

いるが、戸建て住宅にも多く使用されており、今後、レベル3建材の除去作業についてアスベスト飛散防止を徹底していく必要がある。

そこで、法改正により新たに規制の対象となるレベル3建材に係る除去作業に対して、県として石綿の飛散防止をどのよう

うに確保していくのか。

環境生活部長 県としては、法改正の趣旨や今後の省令改正などを踏まえ、必要な業務を検討した上で、職員の専門性の向上、届出の適切な審査や立入検査の充実により、石綿飛散防止対策が確実に実施されるよう努めてまいります。

言うまでもありません。

県においても災害で建築物が崩壊すれば、レベル2建材やレベル3建材からもアスベストが飛散する恐れがあり、すべてのアスベスト含有建材について、早急に把握しておく必要がある。

そこで、法改正により新たに規制の対象となるレベル3建材に係る除去作業に対して、県として石綿の飛散防止をどのよう

**含有建材すべて把握して備えを**

高橋議員 今後、ますます災害が激甚化する中、損

壊した建築物からアスベストが飛散することを防止するためには、平常時から

環境生活部長 県では、災害時に備え、レベル1建材及びレベル2建材が使用されている施設を把握し、市町村へ情報提供しています。



新型コロナウイルス感染症対策のため、発言者前にアクリル板が立てられ、議員席の間隔があげられた県会議場

## 悪質な無車検車運転

### 昨年、2222件検挙

#### 県警

高橋議員 無車検車・無保険車の取締りについてうかがう。県警の無車検車の取締り状況はどうか。

警察本部長 道路運送車両法に定める継続検査等を受けていない、いわゆる無車検車の運行につきましては、車両の安全性が十分担保されていないほか、自賠責保険が切れている可能性も高く、事故の際の被害者救済に支障を及ぼすおそれがあるなど、悪質・危険な違反であると認識しております。

県警では、交通指導取締りや交通事故の取扱い等を通じて、その発見・検挙に

努力しているところであり、令和元年中は、無車検車両の運行により2222件を検挙したところであります。

高橋議員 国交省が実施する「可搬式ナンバー自動読取装置」を用いた街頭検査について、県警の連携状況はどうか。

警察本部長 県警では、国土交通省関東運輸局千葉運輸支局が行う街頭検査に協力し、併せて交通指導取締りを行っているところであります。こうした関係機関合同での街頭検査・取締

り、運輸支局の要請を受けて定期的に実施されておりますほか、整備不良車両等が集まるイベント等がある場合に合同で対策を行うこともございます。

令和元年中、合同での街頭検査・取締りは20回実施されており、うち3回が可搬式ナンバー自動読取装置を用いた街頭検査でございます。

県警では、引き続き、運輸支局等の関係機関と連携し、悪質な無車検車などの悪質・危険な違反の取締りに努めてまいります。

高橋議員 石綿対策について、これから令和10年頃をピークに建築物の解体工事の件数が増加していくことが想定されるため、必要な業務体制をしっかりと整え、対応するようよろしく願いたい。

## 危機管理型水位計 27河川で運用開始

高橋議員 前回の質問で危機管理型水位計の導入を要望したが、設置状況はどうか。

知事 県では、昨年の災害時の経験から、まずは、既存の水位計を補完する危機管理型水位計を、水位周知河川など27河川34箇所に設置し、6月1日から運用を開始しました。

その他の箇所については、早急に設置方針を策定した

上で、既に確認済の市町村の意向も踏まえ、具体的な箇所を選定し、早期の設置に努めてまいります。

高橋議員 次のステップとして、その他の箇所については、市町村の意向確認を行ったとのことですので、必要なところへ出来るだけ早く設置できるように、導入計画を立てて取り組んでいただきたい。

## 富里第一小学校前交差点改良 高橋県議の質問結果

国道409号の富里第一小学校前交差点は、国道の

事故の引き金になる恐れがあるところから、高橋県議は昨年の12月県議会的一般質問でこの問題を

取り上げ、段差解消の取

り組み状況を質問。県担当者は「今年度内に排水施設を道路下に埋設する工事を行い、段差を解消することとしております」と答弁しました。



▶工事が終わり、段差が解消した交差点



▶側溝が国道両側を横断していた改良前の交差点